



災害に強いまちづくり
治水機能の向上について

小林 修 (市民と共に働く会)

問 一級河川忍川において、浸水対策重点地域緊急事業として、河道拡幅、調節池工事が、令和8年度完成を目指し実施されているが、現地を見ても進捗が感じられない。現在の進捗、打合せは。

答 河道拡幅については、令和4年度詳細設計が完了し、来年度用地買収に着手、調節池については、令和4年度から用地買収に着手し、現在埋蔵文化財の試掘調査を実施している。打合せについては、3月に詳細設計の成果の確認等を予定している。

問 護岸工事の強化策が先行し、川底のしゅんせつは見かけない。しゅんせつは流下能力の向上、貯留量の増加が図られるため実施すべきであり、必要である。忍川においては、令和2年度に実施されて以来未実施である。引き続き実施することの

とであるが、市の見解は。

答 しゅんせつについては重要な対策であると認識しており、随時県土整備事務所に強く要望する。

問 地元調節池の概要図と河道拡幅断面、橋りょうの詳細図が提示されていない。地元の協力がなくては出来ないため、理解を得られるよう提示すべきである。

答 この件については、実施機関である県土整備事務所と調整し、地元への周知を図っていく。

問 調節池の底地利用については、詳細設計を聞いているからでは遅いのではないかと、底地利用はせずに県に維持管理を任せざるべき。基本的には、地元の意見要望等を尊重していきたい。

その他の質問
○道路行政の施策
○新ごみ処理施設建設



前向きなまちづくり

細谷 美恵子 (発言と行動する会)

問 本市の人口が8万人を割り込み、少子高齢化が進んでいる。多くの方々が魅力を感じ、選んで移り住んでもらえる、衛生的で明るく元気なまちづくりが必要である。まず小針クリーンセンターの焼却炉の解体はいつになるのか。使わなくなつた炉の解体が遅れるということが全国的にはある。

答 新しい施設の建設稼働の目星が立った時点で鴻巣市に呼びかけをしていきたいと考えている。

問 本市の最終処分場として長善沼最終処分場があるが、近隣の住民に安心感を与えるため、どのように情報公開しているのか。科学的なことが分かる市民も多くいるので、広く情報公開を求めたい。

答 必要に応じ分かりやすく提供していきたい。

問 中学校の統合
行田市公立学校通学

区域等審議会で、何回議題にしたのか。

答 今年度は2回である。中学校の生徒の激減はもう喫緊の課題だといふ認識があるにも関わらずなせ2回なのか。

答 審議会では再編成の検討に着手する基準を含めた答申案を審議中であり、具体的な計画は令和5年度以降に早期に策定したい。

問 教育委員会は常設しているが、どのような役割を担っているか。

答 審議会の答申案を待って話し合いをしたい。

問 教育委員は現場を見学したことがあるのか。
答 1度見ている。
問 中学生の時期は大事である。すぐに卒業を迎える。検討するだけでなく、力強い前向きな言葉はないのか。
答 検討していきたいと考えている。



行田市の子育て施策について

野本翔平 (新政策研究会)

問 厚生労働省からの通知のとおり、本市でも保育所における使用済みおむつを保護者に持ち帰らせるのは止めるべきではないか。

答 家庭負担軽減のため持ち帰りはしないことが望ましい。公立保育園については園での処分実施に向け速やかに取り組む民間保育施設についても持ち帰り廃止に向けた協議を丁寧に進めていく。

問 本市では園児の送迎バス置き去り事業は発生していないか。

答 置き去りになった事例は発生していない。
問 置き去り防止のための対策は。

答 園ではバス降車時の確認等を行っている。
問 本市では保育士による園児への虐待は発生していないか。
答 虐待の事例は発生していない。

問 虐待防止の対策は。未然防止のための引きやチェックリストを活用している。また、国の通知に基づき保育所等における虐待等の不適切な保育への対応等に関する実態調査を実施した。

問 本市の保育士の労働環境は守られているか。
答 公立保育園においては保育士の配置基準に基づいて必要な保育士を配置し、勤務体制や勤務状況については保育園長が管理している。

問 保育士配置基準を変えられるのはどこになるのか。
答 国及び県である。

問 保育士配置基準を改善するよう国や県に要望すべきではないか。
答 近隣の状況なども確認していきたい。

その他の主な質問
○廃校を活用した市民アートギャラリーについて